

岩国医療センターで CapeOX 療法を受けられた患者の方へご協力をお願い

ー「オキサリプラチンによる末梢神経障害発現に及ぼすプロトンポンプ阻害薬の影響について」へのご協力のお願いー

### 1. 研究の背景および目的

オキサリプラチン (L-OHP) は消化器がんを中心に使用される抗がん剤であるが、有害事象として末梢神経障害 (PN) が知られています。PN の発現は QOL の低下や治療の中断につながることもあり、その予防策や治療法の開発が求められています。これまでプロトンポンプ阻害薬 (PPI) の併用により L-OHP 誘発 PN の重症化が低下したとの報告がありますが、L-OHP の投与量への影響は明らかとなっていないです。

そこで、本研究では大腸がんの術後補助化学療法 CapeOX 療法導入患者における PN の発現と PPI の関係性について L-OHP の投与量への影響も踏まえ検証することを目的とします。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2012 年 4 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に岩国医療センターにおいて大腸がんの術後補助化学療法 CapeOX 療法を 6 ヶ月投与予定で開始した患者の方を対象とします。

#### 2) 使用する情報

カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

下記のデータを使用させていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。

・患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、体表面積、Body Mass Index、L-OHP 投与量、CapeOX 療法治療コース数、eGFR、ヘモグロビン値、白血球数、好中球数、血小板値、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルブミン、治療期間中に服用していた括弧内に該当する併用薬 (PPI・ポノプラザン・糖尿病治療薬・スタチン・神経障害性疼痛治療薬・ビタミン B12・ビタミン B6・レベチラセタム)、PN 発症の有無

### 3. 個人情報の保護

すべての研究者、本調査研究に携わる者には、データ取扱者としての守秘義務があり、個人情報保護のために最大限の努力をはらうことを原則とします。

この研究にご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけ

ない場合には研究対象としないので、2025年9月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

〈問い合わせ・連絡先〉

岩国医療センター 薬剤部 前岡 遼祐

電話：0827-34-1000（代表）